

埼玉県中学校進路指導研究会

平成24年度

25地区進路指導・キャリア教育研究協議会11地区発表資料

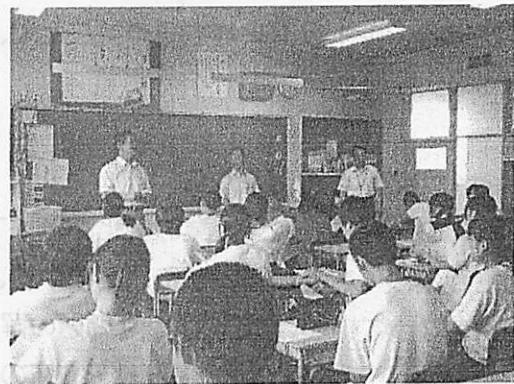
「生きる力」を育む

進路指導・キャリア教育の推進

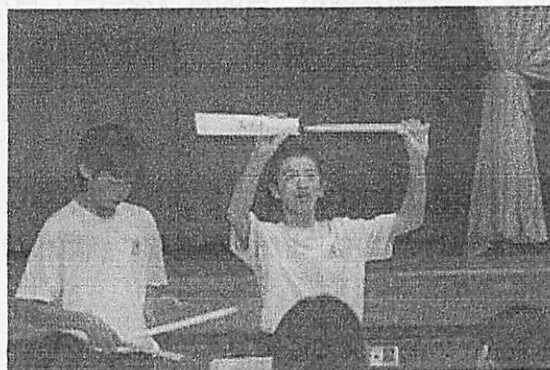
～発達段階に応じた指導・社会保険労務士との連携～



1年：宿泊学習「仲間作りゲーム」



3年：社会保険労務士による出前授業



2年：職場体験発表会

平成24年11月13日(火)

狭山市立山王中学校

# I 研究の概要

## 1 研究主題

「生きる力」を育む進路指導・キャリア教育の推進  
～発達段階に応じた指導・社会保険労務士との連携～

## 2 研究主題設定の理由

### (1) 本校の学校教育目標との関連から

本校の学校教育目標は「未来を見つめ、自ら行動する生徒の育成」であり、「思いやりのある生徒」「真剣に学習する生徒」「たくましく生きる生徒」「よくはたらく生徒」の育成を目指し、全職員の協働により日々教育活動に取り組んでいる。

冒頭の「未来を見つめ」という言葉は、生徒一人一人が自らの将来の在り方、姿について具体的な目標を持ち、その目標実現のために取り組むことであり、そのためには、キャリア教育の中核をなす進路指導を中心として指導・援助することが重要である。『キャリア教育』の視点から教育の在り方を見直すことは『生きる力』を育む教育の推進につながる。そのために、すべての学校教育活動を通じて自己の将来との関わりを考えさせ、取り組ませることが大切であると考え。

本研究では、「基礎的・汎用的能力」を構成する4つの能力に着目し、今まで取り組んできた進路指導・キャリア教育を見直すことで、学校教育目標の実現化にせまると考え、本主題を設定した。

### (2) 社会の要請との関連から

近年の社会、経済、産業の変化、そして雇用の多様化・流動化を背景として、将来への不透明さが増してきている。また、高校中退、フリーターやニートなど現代の若者の生き方が社会問題となっている。(このような問題の解決に向けての一つの教育活動がキャリア教育と考えている。)そこで本校では、キャリア教育の目標を「社会で生き抜く力の育成」と捉え、生徒に身につけさせたい4つの能力から進路指導・キャリア教育を再確認し、発達段階に応じた指導や社会保険労務士との連携で職業観を深め、目的意識をもって日々の学校教育活動に取り組む生徒の育成、さらに、教職員の意識向上を図ることが重要な課題と考えた。

### (3) 生徒の実態から

本校の生徒は、全体的に明るく素直である。2つの小学校から入学してくる生徒がほとんどであり、人間関係も比較的安定している。また、係活動や当番活動・清掃活動など真面目に取り組んでいる生徒も多い。

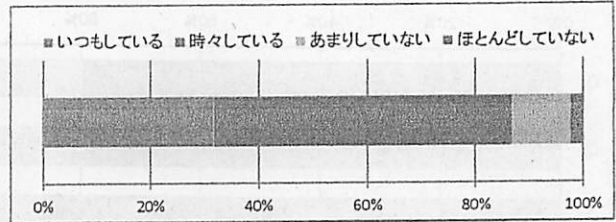
年度当初、生徒の基礎的・汎用的能力に関して、「中学校キャリア教育の手引き<sup>\*1</sup>」を参考にアンケートを実施した。そのなかで、数値が高かった項目は、「友達や家族と、協力して行動しようとしていますか」という項目で、事実、普段の学校生活の中でも協力して活動している様子もうかがえる(図1)。逆に、数値が低かった項目は「不得意なことや苦手なことでも、進んで取

\*1 中学校キャリア教育の手引き H23.3 文部科学省発行

り組もうとしていますか」と「見通しをもって計画的に行動したり、やり方を改善したりして生活していますか」という質問であった。(図2、図3) 他の質問項目よりも、「あまりしていない」と回答している生徒が多く、不得意なことや苦手なことへの取り組みが消極的であったり、自分から進んで計画を練ったり、改善したりすることが苦手な生徒が半数近く占めていることがわかった。

図1

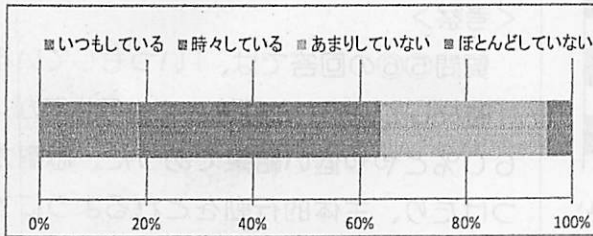
Q 友達や家族と協力して行動しようとしていますか



人間関係形成・社会形成能力  
(チームワーク・リーダーシップ)

図2

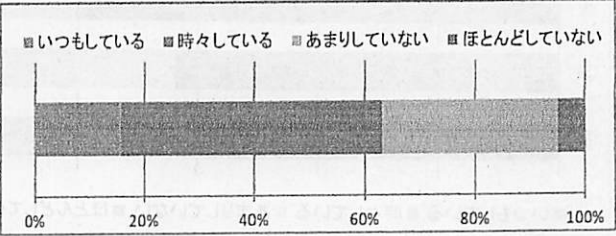
Q やる気が起きない時でも、自分がすべきことと取り組もうとしていますか。



自己理解・自己管理能力  
(忍耐力・ストレスマネジメント)

図3

Q 見通しをもって計画的に行動したり、やり方を改善したりして生活していますか。



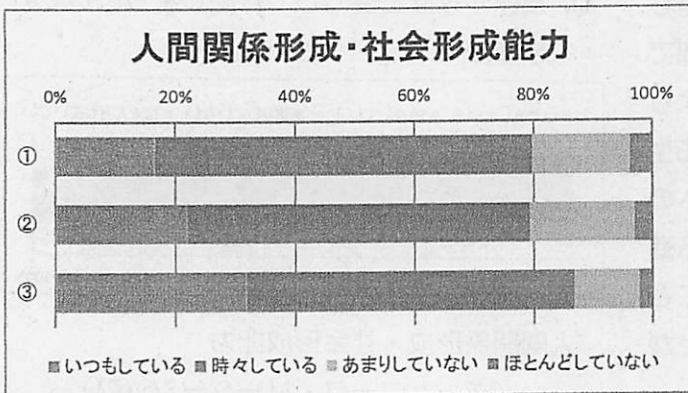
課題対応能力  
(計画立案・実行力・評価改善)

### 実施したアンケート項目とアンケートとアンケート結果

- ① 人の話を聞くと、その人の気持ちを考えて聞いていますか。
- ② 自分の気持ちを伝えるとき、わかりやすく話そうと工夫していますか。
- ③ 友達や家族と、協力して行動しようとしていますか。
- ④ 自分の興味や関心、長所や短所などを理解しようとしていますか。
- ⑤ やる気が起きない時でも、自分がすべきことは取り組もうとしていますか。
- ⑥ 不得意なことや苦手なことでも、進んで取り組もうとしていますか。
- ⑦ わからないことや知りたいことを、自分で資料を収集したり、だれかに質問したりしていますか。
- ⑧ 失敗したときや問題が起こったときに、次に失敗しないようにするには、何をすればよいか考えていますか。
- ⑨ 見通しをもって計画的に行動したり、やり方を改善をしたりして生活していますか。
- ⑩ 今学校で学んでいることと、自分の将来のつながりを考えていますか。
- ⑪ 将来のために目標を立てたり、実現のための方法を考えていますか。
- ⑫ 自分の将来の目標に向かって努力したり、生活や勉強の仕方を工夫したりしていますか。

4 : いつもしている 3 : 時々している 2 : あまりしていない 1 : ほとんどしていない

●人間関係形成・社会形成能力

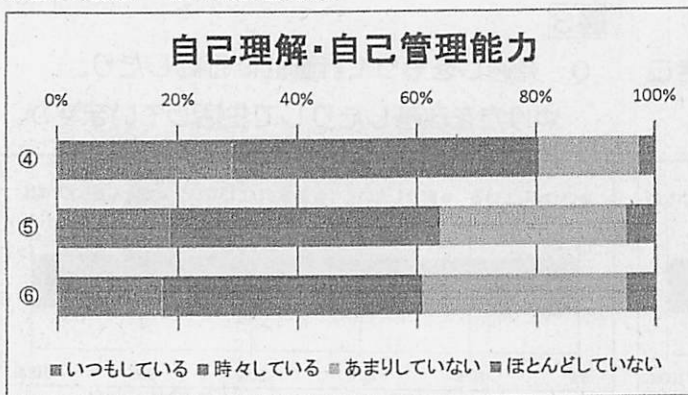


- 質問① 他者の個性を理解する力
- 質問② コミュニケーションスキル
- 質問③ チームワーク・リーダーシップ

<考察>

生徒の80%以上が「いつもしている」「時々している」と回答している。概ね良好であると考えられる。

●自己理解・自己管理能力

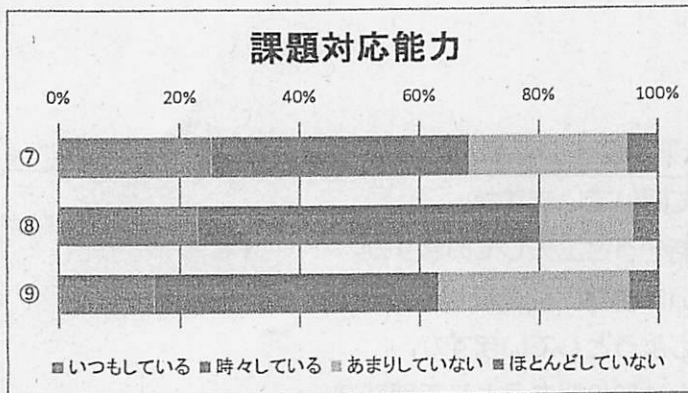


- 質問④ 自己の動機付け
- 質問⑤ 忍耐力・ストレスマネジメント
- 質問⑥ 主体的行動

<考察>

質問⑤⑥の回答では、「いつもしている」「時々している」と回答している生徒が60%とやや低い結果であった。忍耐力をつけたり、主体的行動をとれるようにすることが課題である。

●課題対応能力

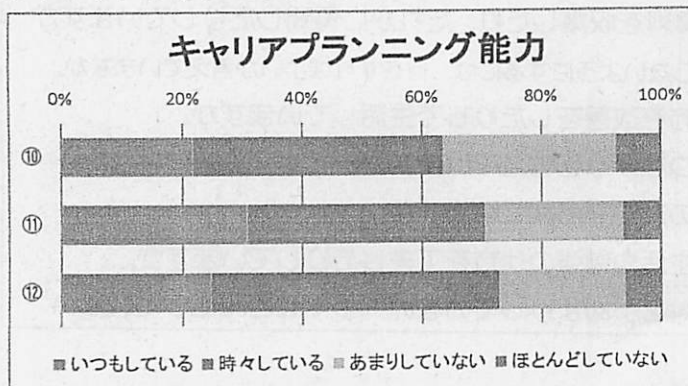


- 質問⑦ 情報の理解・選択・処理
- 質問⑧ 原因追及・課題発見
- 質問⑨ 計画立案・実行力

<考察>

質問⑨の回答で評価が低い。計画を立てたり、自分にあった方法で課題に取り組める力をつけたい。

●キャリアプランニング能力



- 質問⑩ 学ぶこと働くことの意義や役割
- 質問⑪ 将来設計
- 質問⑫ 行動改善

<考察>

質問⑩の回答で評価が低い。今学校で学んでいることと自分の将来とのつながりをじっくり考えさせることが必要である。